

全米で話題のオーラルケア用品 美味しく口腔ケア！

米国で今人気を集めている口腔ケア剤「オーラルブルー」
人気の理由、それは、口内細菌はくの体の病気を引き起こす原因として、
シークレットキラーと呼ばれて恐れられているからです。

オーラルブルーは人体に無害な成分を使用しておりますので
安全・安心してご使用いただけます。
浮遊細菌やバイオフィルム病原体も素早く死滅させ、
バイオフィルムマスに含まれる菌も死滅させます。
バイオフィルムマスを崩壊、分解させ、表面にこびりついた
バイオフィルムを脱離させます。

本当に怖い歯周病-- 口内菌の管理で、全身疾患を予防する

歯周病の原因菌がつくる病原菌毒素や、歯周炎が発生することによる炎症成分(炎症サイトカイン)などが、血液を介し全身に回り各機関の健全な働きを阻害することが原因だと分かってきています。

お口の中には細菌がいっぱい

唾液1ml=1億の細菌　歯1本に10億の細菌

病原菌の大半は口から体内に侵入します

お口は、病気から体を守る最初の「関所」です

歯科医院は感染症と生活習慣病を予防・教育できる



クオラムセンシング-- Cell-Cell Communication

セルセルコミュニケーションとは

Cell-Cell Communication



オーラルブルーの主成分である乳酸菌を主成分とするPAC-5は、セルセルコミュニケーションを遮断し細菌を死滅させます。俗に虫歯菌とは、ミュータンス菌の事を指します。正確にはミュータンス連鎖球菌です。菌は糖を媒介として連鎖を続け歯周病菌の等々の歯に悪影響を与える菌群になります。菌と菌とのコミュニケーションを行うことにより連鎖を拡大しバイオフィルムを作り生み出される酸によってエナメル質が溶けていきます。

糖の代わりにこれらの菌の間に入り悪影響を与える菌の孤立化させる力をオーラルブルーは持っています。オーラルブルーにより孤立化された菌は胃の酸により死滅します。

メディア情報：各メディアがこの進化を注目し、取り上げています

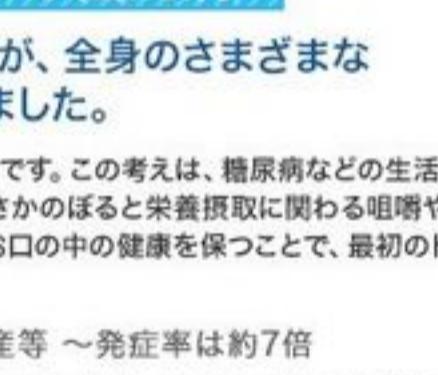
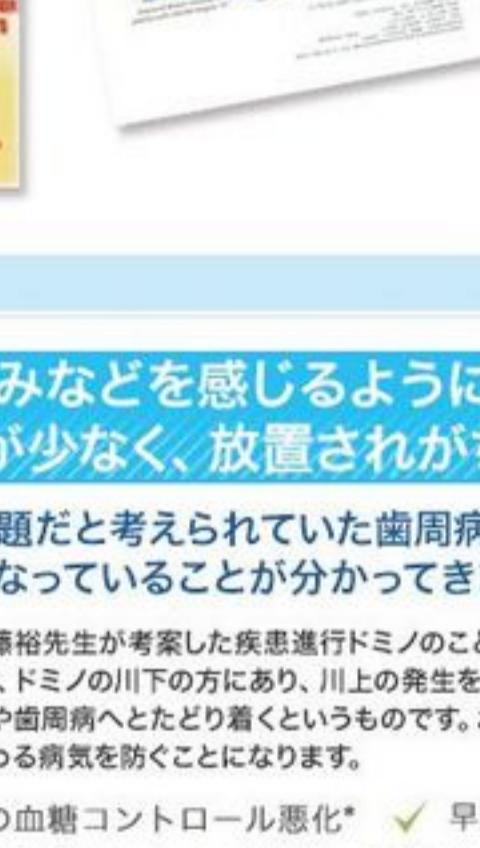
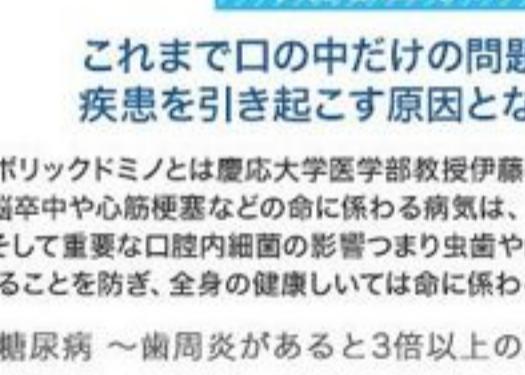


TIME誌

SCIENTIFIC AMERICAN誌



The Oral Systemic connection



悪化して痛みなどを感じるようにならないと 自覚症状が少なく、放置されがちな歯周病

これまで口の中だけの問題だと考えられていた歯周病が、全身のさまざまな疾患を引き起こす原因となっていることが分かってきました。

メタボリックドミノとは慶應大学医学部教授伊藤裕先生が考案した疾患進行ドミノのことです。この考えは、糖尿病などの生活习惯病や、脳卒中や心筋梗塞などの命に係わる病気は、ドミノの川下の方にあり、川上の発生をさかのぼると栄養摂取に関わる咀嚼や咬合機能、そして重要な口腔内細菌の影響つまり虫歯や歯周病へとたどり着くというものです。お口の中の健康を保つことで、最初のドミノが倒れることを防ぎ、全身の健康しいては命に係わる病気を防ぐことになります。

- ✓ 糖尿病～歯周炎があると3倍以上の血糖コントロール悪化*
- ✓ 糖尿病～罹患者の歯周病発症率は1.95倍**
- ✓ 骨粗鬆症～歯周炎によって悪化
- ✓ 早産等～発症率は約7倍
- ✓ 心疾患～冠状動脈疾患を持つ患者の発生率は約2倍***
- ✓ 肺炎～誤嚥性肺炎は従来の口腔ケアだけで40-50%低下****

メタボリックドミノが倒れたら



倒れ始めたドミノは、下流になるほど止めるのが困難です。

できるだけ上流で、流れを止めることが大切です。

メタボリックドミノの考え方では、

①ドミノが“重積”する危険性

②ドミノの“流れ”にみる各症状の関わり方と発症時期

③ドミノの流れの“連鎖”反応が重要視されています。